

令和5年度 6年（理科） 年間計画および評価の概要

横浜市立緑小学校

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	自然とともに生きる、わたしたちの地球と環境	1	自然と共に生きることについて、進んで関わり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとする。			
	1. ものが燃えるしくみ	9	ものの燃焼のしくみについて興味・関心をもって多面的に調べる活動を通して、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて、ものの質的变化について推論する能力を育てるとともに、追究していく過程において、燃焼したときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現できるようにする。	線香やろうそくなどを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、空気の動きを調べ、適切に記録している。(行動観察・記録分析) 気体検知管や石灰水などを安全に正しく使って、ものが燃える前と後の空気の変化を調べ、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析) ろうそくや木などの植物体が燃えると、空気中の酸素が使われ二酸化炭素ができることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	ものの燃え方と空気の動きについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。(発言・記録分析) 実験結果から、気体の種類によるものを燃やすはたらきの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。(発言・記録分析)	ものの燃え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、燃焼のしくみを調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) ものの燃焼のしくみについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
5	2. ヒトや動物の体	10	ヒトやほかの動物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、消化、呼吸、循環および排出のはたらきについての学習を通して、児童が自らの体について理解を深めていくとともに、体の各器官が相互にかかわり合って生命を維持しているという考えをもつことができるようにする。	口から取り入れられた食べ物は、消化管を通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 気体検知管や石灰水を正しく扱い、吸気と呼気の違いを調べている。(行動観察)	だ液によるでんぷんの変化について考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。(行動観察・発言・記録分析) 血液の循環を、消化・吸収や呼吸のはたらきと関係づけて追究し、予想や仮説を発想して、自分の考えを表現している。(行動観察・発言・記録分析)	ヒトや動物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) ヒトや動物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
				ヒトや動物は、呼吸によって酸素を取り入れ、二酸化炭素などを出すことを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 資料などを目的に応じて選択し、血液の流れや腎臓のつくりとはたらきを調べ、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析)		
				血液は心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素などを運んでいることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 体内には生命を維持するためのさまざまな臓器があることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)		
6	3. 植物のつくりとはたらき	8	植物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、根から取り入れられた水のゆくえや植物と空気の関係、植物が養分をつくるはたらきについての学習を通して、植物に対する理解を深めていくとともに、植物が重要なはたらきをしているという考えをもつことができるようにする。	植物には、根から取り入れた水の通り道があることを調べ、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析) 根や茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた水はおもに葉から蒸散により排出されることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 気体検知管などを正しく使って、植物と空気の関係を調べている。(行動観察) 日光と葉のでんぷんについて、実験の目的に応じて材料を用意し、正しく扱いながら調べている。(行動観察) 植物の葉に日光が当たると、でんぷんができることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	葉まで運ばれた水がその後どうなるかについて予想や仮説を発想し、表現している。(発言・記録分析) 日光と葉のでんぷんについて、実験の結果から考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。(発言・記録分析)	植物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) 植物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
7	4. 生物どうしのつながり	7	生物どうし、および空気や水を通じた生物のつながりについて興味・関心をもち、養分や空気や水が自然の中を行き来していることについて理解を深めていくとともに、生物と環境についての考えをもつことができるようにする。	ヒトは、植物や動物を食べ、動物の食べ物をたどっていくと植物に行きつくことを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 顕微鏡を正しく使って、水中の小さな生物を観察し、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析) メダカなどの魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 生物は、空気や水を通してかかわり合っていることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	自然の中の生物も、食物連鎖でつながっていることについて、予想や仮説を発想し、表現している。(発言・記録分析) 動物と植物が空気を通してかかわり合っていることについて、調べたことから考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。(発言・記録分析)	生物どうしのつながりに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) 生物どうしのつながりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
8	5. 水よう液の性質	2	これまでの学習をもとに、生物と空気の関係を整理し、空気の出入りに伴うエネルギーについて理解する。 これまでの学習をもとに、姿を変えながら移動する自然界における水の循環を整理し、水は人が生きていくために欠かせないものであることを理解する。			
				自由研究	2	これまでの学習や身近な自然体験をもとに、自分が調べるテーマを見つけ、見通しをもって研究を進め、それらの成果を発表する活動を通して、科学的な思考力をつけられるようにする。
9	6. 日と太陽	6	月の位置や形の変化に興味・関心をもち、月の輝いている側に太陽があることをとらえるとともに、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追	水溶液や器具を目的に応じて用意し、安全に正しく使って、いろいろな水溶液の違いを調べている。(行動観察) 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) リトマス紙などを正しく使って水溶液の性質を調べ、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析) 水溶液は、酸性・中性・アルカリ性の3つに中間に分けられることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 水溶液や器具を安全に正しく使って、金属が変化するようすを調べている。(行動観察・記録分析) 見えなくなった金属がどうなったのかを調べ、結果を適切に記録している。(記録分析) 蒸発皿に残ったものの性質を調べ、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析) 水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	5種類の水溶液の区別のみかたについて予想や仮説をもち、自分の考えを表現している。(発言・記録分析) 金属に薄い塩酸を加えたときのようなから、金属に起こった変化について予想や仮説をもち、解決の方法を発想している。(発言・記録分析) 蒸発皿に残ったものの性質を調べた結果から考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。(発言・記録分析)	身の回りの水溶液に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、水溶液の性質を調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) 水溶液の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)

11	ウ. 化石	ウ	究し、月の形の見え方が規則正しく変化する理由について、より妥当な考えをつくりだし、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	月の形の見え方は、地球から見た太陽と月の位置関係によって変わること理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	モデル実験や観察をもとに、月の形の見え方が変化する理由について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。(発言・記録分析)	月の形の見え方の変化や月の表面のようすなどの学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
12	7. 大地のつくりと変化	16	地層などを観察し、地層のつくりやでき方について多面的に調べる活動を通じて、大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくり、変化してきたという考えをもつことができるようにする。また、火山活動や地震による大地の変化と災害とを関係つけて調べ、災害への備えについて考えるとともに、自然の力の大きさを感じ取ることができるようにする。	地層のようすを調べる器具などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら観察し、適切に記録している。(行動観察・記録分析)	地層のようすや構成物について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。(発言・記録分析)	大地のつくりと変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析)
地層の構成物と、地層に重なりや広がりがあることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)				地層のでき方について問題を見だし、解決の方法を発想し、表現している。(発言・記録分析)	大地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)	
堆積のモデルを運搬・堆積の場としてとらえ、地層のでき方を調べている。(行動観察・記録分析)				地層が固まってできた岩石や化石を調べ、長い時間の経過と合わせて考察している。(発言・記録分析)		
双眼実体顕微鏡などの器具を正しく操作しながら、火山灰を観察し、その特徴を適切に記録している。(行動観察・記録分析)				火山活動や地震に対する具体的な備えを知り、自然からの恩恵についても理解し、自然との向き合い方について、自分なりの考えをもっている。(発言・記録分析)		
地層は、れき、砂、泥や火山灰などからできており、層となって広がっていることを理解し、長い年月をかけて変化していることをとらえている。(記録分析・ペーパーテスト)						
資料などを目的に応じて選択し、火山活動や地震による大地の変化について、多面的に調べている。(行動観察・記録分析)						
1	8. てこのはたらき	10	てこの手ごたえや、てこがつり合うときの重さを調べる実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てこがつり合うときの規則性についての考えをもつことができるようにする。また、小さな力で重いものを動かせるという視点で、身の回りを観察し、さまざまな道具でてこの規則性が利用されていることをとらえるようにする。	力点・作用点の位置を変え、てこを使うときの重さを調べ、結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析)	てこを使って重いものを小さな力で持ち上げる方法について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。(発言・記録分析)	てこのしくみやはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析)
実験用てこを使って、左右のおもりの重さや位置を変えながら、てこの規則性を計画的に調べている。(行動観察・記録分析)				てこの手ごたえと支点・力点・作用点の位置関係について考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。(発言・記録分析)	てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)	
てこがつり合うときの規則性や、支点から等距離でつり合うときはおもりの重さも等しいことを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)				実験結果をもとに、てこの規則性について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。(発言・記録分析)		
てこを利用した道具を目的に応じて用意し、安全に正しく使いながら、支点・力点・作用点について調べている。(行動観察・記録分析)				てこの規則性と道具のしくみやはたらきとの関係を多面的に調べ、考察し、自分の考えを表現している。(発言・記録分析)		
2	9. 発電と電気の利用	14	電気はつくり出したり蓄えたりすることができることを知り、その電気をさまざまな器具に流すことによって、電気は、光、音、熱などに変えることができるという考えをもつことができるようにする。また、身の回りには電気をつくり出したり蓄えたり、光、音、熱などに変えるさまざまな道具があることを知るとともに、より妥当な考えをつくりだす力を育成する。	身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)		
手回し発電機などを正しく扱いながら、発電のようすを調べ、適切に記録している。(行動観察・記録分析)				発電について問題を見だし、乾電池と比較した予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。(発言・記録分析)	発電と電気の利用に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析)	
光電池や鏡などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら実験を行い、適切に記録している。(行動観察・記録分析)				光電池のはたらきについて考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。(発言・記録分析)	発電と電気の利用について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)	
3	10. 自然とともに生きる	5	ヒトやほかの生物と環境がどのようにかかわり合っているかを調べたり、身近な環境問題を調べたりして、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにするとともに、自然を大切にしようとする態度を育てる。	身の回りには、電気の性質やはたらきを利用した道具があることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	実験結果をもとに、豆電球と発光ダイオードの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。(発言・記録分析)	
ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)				電気をむだなく使うための工夫について問題を見だし、予想した条件や動作の組み合わせをもとに、解決の方法を発想し、プログラミングしている。(行動観察・記録分析)	身の回りの環境に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析)	
				資料などを目的に応じて選択し、ヒトの活動と環境が互いに与えている影響について調べている。(行動観察・記録分析)		